

水道事業評価(令和3年度)

担当課

上水道建設課

1 事業情報

目指すべき方向性	強靱	基本政策	2 安定・快適な水道水の供給	施策	2-2 配水管網の強化	事業	2-2-1 配水管のネットワーク化の推進
----------	----	------	----------------	----	-------------	----	----------------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。							
事業目的	市内全域を網羅している配水管網を、拠点浄配水場を軸とした5つのエリアに基幹ブロック(大ブロック)化し、水圧や流量などの快適性の向上を図ります。また、非常時には、断水範囲を最小限に食い止めるとともに、被害区域内を集中的に補修し、早期に復旧するためのネットワークを構築します。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>配水ブロック化事業実施計画に基づき、石神ブロックのブロック化に必要な仕切弁の設置及び、それに伴う配水管 2.00km(継続事業275mを除く)を整備します。</li> <li>石神・新郷ブロック間、石神・神根ブロック間のバルブ閉止に伴い、濁水のリスクがある箇所について事前に洗管作業を行います。</li> <li>工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。</li> </ul>							
期間	令和3年4月 ~ 令和4年3月							
予算額 決算額	予算額			決算額			執行率	
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	950,575	105,071	845,504	893,580	104,414	789,166	94%
	工事費	845,504		845,504	789,166		789,166	93%
	原材料費	0			0			
	委託料	104,389	104,389		104,389	104,389		100%
	賃借料	0			0			
	その他	682	682		25	25		4%
人件費	9,085			9,085			100%	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	493,559	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	52%		
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>配水ブロック化事業実施計画に基づき、石神ブロックのブロック化に必要な仕切弁や排水設備の設置及びそれに伴う配水管を1.99km整備しています。</li> <li>石神・新郷ブロック間のバルブ閉止に伴い、濁水のリスクがある箇所について事前に洗管作業を行っています。</li> </ul>			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>配水ブロック化事業実施計画に基づき、石神ブロックのブロック化に必要な仕切弁や排水設備の設置及びそれに伴う配水管を2.03km整備しました。</li> <li>石神・新郷ブロック間のバルブ閉止に伴い、濁水のリスクがある箇所について事前に洗管作業を行いました。</li> <li>工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。</li> </ul>			
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた			
事業達成度 C~Eの理由				

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名	補強管整備率	単位	%	目標値	89.4	100	51.7	
算出式・根拠	(補強管布設延長/補強管布設必要延長) × 100 ※令和3年度より補強管布設必要延長変更あり			実績値	0	95.7	44.2	
指標名	仕切弁設置率	単位	%	目標値	-	32.4	79.3	
算出式・根拠	(仕切弁設置数/仕切弁設置必要数) × 100			実績値		62.1	79.3	
指標名	仕切弁閉止率	単位	%	目標値	-	32.4	52.4	
算出式・根拠	(仕切弁閉止数/仕切弁閉止必要数) × 100			実績値		29.3	52.4	

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の事業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、交通規制期間を最小限に抑えるとともに、断水・濁水の抑制、交通渋滞等の防止により一層努めます。</li> <li>適正な工期の設定を徹底し、安全かつ余裕を持って工事が執行できるよう一層努めます。</li> </ul>	現状維持で継続